

種名	<u>トモエガモ</u> <u>Anas formosa</u>												
													
分類	ガンカモ目ガンカモ科												
特徴	顔に緑に黄色の巴模様を持った小形の淡水ガモ類。シベリア東部で繁殖し、日本には冬鳥として渡来する。一般には少ないが、石川県などでは群れが見られる。												
生活	越冬地では湖沼、川、池などで生活し、少数の時はコガモの群れに混ざって行動している。習性もコガモと同様で、昼間は安全な水面で休息し、夕方、夜間、早朝などに水辺や水田などで採餌する。マガモ属のカモは淡水ガモ類と呼ばれ、スズガモのような海ガモ類やウミアイサのようなアイサ類と比べると、水面に浮かぶ時に尾が水面より、高く保たれている。潜水はほとんどしない。水面から垂直に飛び立つ。												
声	あまり鳴き声を聞くことはないが、オスは「グルッグルッ」とか「ゴロゴロッ」という、つぶやくような低い声で鳴くことがある。メスは「グワッグワッ」と低い声で鳴くという。												
見分け方	オスは頭頂のある顔の模様ですぐ見分けられる。メスやオスのエクリプスはコガモによく似るが、くちばしの付け根に白斑がある。翼の上面の模様は、コガモでは翼鏡の前と後に白線があるが、トモエガモでは後縁の白線しかない。												
時期	(月)	1	2	3	4	—	—	—	—	—	10	11	12
その他	全長 (L) ♂43cm ♀38cm 翼開長 (W) 63～72cm												
参考文献：山溪カラー名鑑　日本の野鳥													